令和７年度社会福祉法人本庄市社会福祉協議会　事業報告

少子高齢化や核家族化の進行に伴い、地域住民の生活課題が複雑化・多様化し、社会を取り巻く課題は拡大の一途を辿り、ひきこもり、孤独・孤立、災害、困窮、自殺など、既存の制度や仕組みだけでは解決が難しい多くの問題が深刻化しています。

当協議会では、「第３期本庄市地域福祉活動計画 ふくしの杜ほんじょうプラン 21」の基本理念に則り、市民やボランティア、自治会、民生委員・児童委員のほか、地域の多様な団体・機関・企業との連携・協働により、地域共生社会の実現に向けた取組を推進しています。

令和７年度は、第４回本庄市社会福祉大会を開催し、地域福祉の推進に寄与された個人・団体の顕彰や、講演・発表等を通じて、市民の福祉への理解促進と支え合いの機運醸成に努めました。また、未来を担うこどもたちの健やかな成長を地域で支えるため、「ほんじょうこども未来応援金」に寄せられた寄附金を活用し、市内小・中学生への学用品提供を行うとともに、各種フードパントリー事業等の拡充に取り組みました。これらの取組を通じ、地域全体でこどもの育ちを支える環境づくりの推進を図りました。

また、当協議会を取り巻く経営環境の変化に対応し、持続可能な組織運営を確立するため、組織経営・事業戦略強化を図る取組としてファンドレイジングの推進を開始いたしました。

本会は、今後も地域福祉推進の中核を担う機関として、誰もが安心して住み続けられる地域共生社会の実現に向け、誠心誠意、福祉活動の推進に努めてまいる所存です。

主な事業実績（※前年比は、小数第２位を四捨五入）

■会務の運営

１．理事会、監査、評議員会

・理事会、監査、評議員会を開催し、職務の執行、監査及び各事項に関する審議等を行った。

内容	回数	開催日	主な審議事項	出席者数
理事会（※）	５回	６月１２日	定時評議員会招集、事業報告、決算ほか	１２名
		６月２７日	会長・副会長及び常務理事選定ほか	１２名
		１０月９日	評議員会招集、補正予算ほか	１１名
		１２月２３日	規程改正、評議員会招集、補正予算ほか	１１名
		３月９日	定款変更、事業計画、当初予算ほか	１０名
監査（※）	１回	５月２９日	事業報告、計算関係書類に関する監査	２名
評議員会（※）	５回	６月２６日	理事・監事選任、事業報告、決算ほか	２４名
		７月１４日	補正予算	２５名
		１０月２９日	補正予算	２４名
		１月１６日	補正予算	２４名
		３月１７日	定款変更、事業計画、当初予算ほか	２４名

※理事定数１５名、監事定数２名、評議員定数３５名

２．評議員選任・解任委員会

・評議員選任・解任委員会を開催し、評議員の選任について審議した。

内容	回数	開催日	主な審議事項	出席者数
評議員選任・解任委員会	１回	６月２４日	評議員選任	４名

３．各種委員会

・その他の各種委員会を開催し、それぞれ運営に必要な事項について審議を行った。

内容	回数	開催日	主な審議事項	出席者数
ボランティアセンター運営委員会	２回	７月２５日	事業報告、事業計画	１０名
		２月２７日	事業計画、事業進捗状況報告	１０名
地域福祉活動計画社協内ＷＧ会議	１回	７月２日	第３期本庄市地域福祉活動計画（ふくしの杜ほんじょうプラン２１）進捗管理シートについて	４名
地域福祉推進委員会	１回	７月２３日	〃（市審議会と合同開催）	１２名
法人成年後見事業運営委員会	３回	４月２５日	新規受任（１件）	１０名
		７月１４日	新規受任（２件）	１１名
		２月１９日	既受任者の経過報告	１２名
成年後見サポートセンター運営委員会	３回	６月６日	事業実績報告、講演会実施、研修会実施	１０名
		１２月２２日	講演会報告	９名
		２月１９日	事業計画、研修会報告	１２名

■財政基盤と組織体制の強化

１．会員加入の促進と会費収入の増強

・『社協会員募集運動』を実施し、自治会連合会、民生委員・児童委員協議会、法人等にご協力いただき次の実績を得ることができた。

内容	令和７年度	前年度	前年比（%）
件　数	６，０４３件	６，２３０件	９７．０
金　額	５，１７３，５４２円	５，３７０，２７７円	９６．３
＜内　訳＞	・普通(個人等)　４，６５４件／１，３９６，８００円		
	・特別(個人等)　１，１１６件／２，５７９，８４２円		
	・法人(会社等)　２７３件／１，１９６，９００円		

２．寄附金募集による自主財源の確保

（１）一般寄附

・地域福祉の推進を目的として、広く市民や企業・団体等の皆さまに一般寄附を募集した。

内容	令和７年度	前年度	前年比（%）
件　数	５９件	５４件	１０９．３
金　額	１，６４２，５０１円	１，７９３，６５１円	９１．６

（２）ほんじょうこども未来応援金

・本庄市のこどもの健やかな成長を支えるため、「ほんじょうこども未来応援金」を募集した。

内容	令和７年度	前年度	前年比（%）
件　数	４３件	４７件	９１．５
金　額	８，０８７，７５８円	９，０２９，７２９円	８９．６

３．入れ歯リサイクル回収事業による自主財源の確保

内容	令和７年度	前年度	前年比（%）
金　額	４０，１４１円	１４，７４０円	２７２．３

４．自動販売機設置事業

内容	令和７年度	前年度	前年比（%）
台　数	１台（１０月以降０台）	２台（６月以降１台）	５０．０
金　額	９，６８５円	２４，６６０円	３９．３

５．広報活動の実施

・活動報告や制度の周知等を図るため、広報紙の発行などを行った。

○「社協だよりハート&ハート」の発行（年４回・市内全戸配布）

○ホームページの充実及び Facebook・X（旧 Twitter）での情報提供

○ふくしＰＲコーナーの設置

市内医療機関、飲食店、スーパー等にＰＲコーナーの設置を依頼。情報紙・福祉イベントチラシ等の掲示にご協力いただいた。

内容	令和７年度	前年度	前年比（%）
設置数	５１か所	４８か所	１０６．３

６．各種職員研修の実施及び外部研修等への参加

・各種職員研修を実施したほか、埼玉県社会福祉協議会等が主催する研修会に参加した。

・埼玉県市町村社協連絡会主催「地域福祉推進セミナー」にて「コロナ禍を契機とした『ほんじょうこども未来応援金』の取組」について実践発表を行った（５７人参加）。

７．本庄市社会福祉大会の実施

・地域福祉の推進に寄与された個人・団体を顕彰し、市民の福祉への理解と参加意欲を高めるため、５年に一度となる「本庄市社会福祉大会」を開催した。第４回となる今回は、福祉功労者の顕彰に加え、本庄市との共催による地域福祉講演会や市民参加型企画を実施し、地域共生社会の実現に向けた機運醸成を図った。

内容	令和７年度	令和２年度（前回大会）（※）	前回比（%）
総来場者数	５７９人	―	―
地域福祉講演会来場者数	２４４人	―	―
顕彰対象件数	２４０件	１１８件	２０３．４

※令和２年度（前回大会）は、コロナ禍の影響で式典は中止。顕彰のみ実施し、顕彰対象者へは郵送で対応。

■高齢者福祉事業

１．高齢者世帯等安否確認事業・友愛通信事業（郵便による友愛訪問活動）

・日常的に見守りを必要とする７０歳以上の高齢者世帯（単身・二人世帯含む）及び７５歳以上の日中独居高齢者世帯を対象に民生委員・児童委員が毎月お便りや生活物品等を配付し、安否確認と孤立防止に取り組んだ。また、日常的に見守りを必要とする７０歳以上の単身世帯を対象に、年２回（暑中見舞いと誕生日）ボランティアが描いた絵手紙を送り、郵便による友愛訪問活動を行った。

内容	令和７年度	前年度	前年比（%）
高齢者世帯等安否確認事業	９７７世帯	９８８世帯	９８．９
友愛通信事業	６１８世帯	６６８世帯	９２．５

２．ふれあいいきいきサロン支援事業

・自治会や身近な地域を拠点として、高齢者や障害者、ひきこもりがちな若者等、地域住民や同じ悩み・不安を抱えた者同士がボランティア等と協働して取り組む住民主体の交流活動「ふれあいいきいきサロン」を支援した。

内容	令和７年度	前年度	前年比（%）
登録サロン数（※）	８２か所	７９か所	１０３．８
参加者数 （うちボランティア数）	２，００４人 （４３９人）	２，００４人 （４７８人）	１００．０ （９１．８）

※登録サロンのうち２か所は１年間活動休止中

３．在宅福祉有償家事援助事業（ほんじょう助け合いサービス）

・在宅の高齢者世帯や障害者世帯等を対象に、掃除や買い物等の家事全般、外出介助等の支援を有償で提供する住民参加型の家事援助サービスを推進した。また、協力会員のスキルアップを目的として「協力会員研修会」を実施した。

内容	令和７年度	前年度	前年比（%）
利用会員数 （延べ利用人数）	１６０人 （４１８人）	１３１人 （３５７人）	１２２.１ （１１７.１）
協力会員数 （延べ活動人数）	７２人 （２０８人）	５８人 （１９６人）	１２４.１ （１０６.１）
訪問回数 （延べ活動時間）	１，４６１回 （１，５３５時間）	１，２６４回 （１，２８３時間）	１１５.６ （１１９.６）
協力会員研修会 参加者数	２１人	２３人	９１．３%

４．地域会食事業（レシピ集配付）

・在宅で生活する高齢者世帯等のみなさまに「おうち時間」を楽しんでもらうため、本庄市食生活改善推進員協議会監修「レシピ集」を、民生委員・児童委員を通じて配付した。

内容	令和７年度	前年度	前年比（%）
対象者数	９７７人	９８８人	９８．９
実施回数	４回	４回	１００．０

■障害児（者）福祉事業

１．福祉車両・車いす貸出事業

・障害者等を対象に、福祉車両や車いすを貸し出すことにより、外出の支援を行い、社会生活の利便性向上と生活圏域の拡大を図った。

内容	令和７年度	前年度	前年比（%）
福祉車両	１９２件	１７０件	１１２．９
車いす	１２７件	１５１件	８４．１

２．児玉郡市手話通訳者派遣事業（受託事業）

・聴覚障害者とその他の者との意思疎通を仲介する手話通訳者を派遣し、意思疎通の円滑化に努め、聴覚障害者の福祉の増進と社会参加の促進を図った。

内容	令和７年度	前年度	前年比（%）
派遣件数	９２４件	９９２件	９３．１
来所者数	３６７人	３３７人	１０８．９
テレビ電話利用件数	３０５件	２０５件	１４８．８

３．「障がい者作品展」の開催

・障害者の文化・創作活動を支援するため、障がい者作品展を開催し、絵画や手芸品などを展示・紹介した。また、それに先立ち、ふれ愛祭にてプレ作品展示を行った。終了後には、出展作品を掲載したカレンダーを作成し、個人参加者、児玉郡市内の施設及び市内公共施設等へ配付した。

内容	令和７年度	前年度	前年比（%）
個人参加数（※）	２人	―	―
施設参加数	２０施設	１９施設	１０５．３

※個人参加者は令和７年度より募集

■児童福祉事業

１．ファミリー・サポート・センター事業（受託事業）

・子育ての手助けを必要とする方と子育ての援助ができる方とを結び、保育施設や習い事等への送迎を中心に、一時的な育児援助活動を有料で行う会員組織活動を推進した。また、保育サービス講習会を開催した。

内容	令和７年度	前年度	前年比（%）
援助件数	６３４件	１，００３件	６３．２

会員数（全体）	１３１人	１４５人	９０．３
① 依頼会員	９６人	１０８人	８８．９
② 援助会員	３０人	３１人	９６．８
③ 両方会員	５人	６人	８３．３
保育サービス講習会参加者数	３１人（援助会員２１人・一般１０人）	－	－

２．赤い羽根共同募金配分金事業

・未来を担うこどもたちの健やかな成長を地域で支えるため、赤い羽根共同募金を活用し、市内小学校の令和７年度新入学児童に対し、学用品（糊）の配付を行った。

内容	令和７年度	前年度	前年比（%）
対象児童数	５１５人	５５０人	９３．６

・予期できない災害や事故、親の離婚や病気、また不適切な養育を受けているなど、さまざまな事情により家族による養育が困難な児童養護施設のこどもたちに、思いやりの心を育むことを目的に、クリスマスケーキを配布した。

内容	令和７年度	前年度	前年比（%）
対象児童・生徒数	３０人	３０人	１００．０
配布個数	１０個	１０個	１００．０

３．こども・子育て支援事業

（１）フードパントリー事業（生活応援便事業）

・市民、企業等へ呼びかけ、配付する食品の寄附を募り（フードドライブ事業）、「食」にお困りの子育て世帯へ無償で食品を配付するフードパントリー事業（生活応援便事業）を実施した。

内容	令和７年度	前年度	前年比（%）
協力企業・団体	１０件	１４件	７１．４
協力個人	９人	１０人	９０．０
配付世帯	２５５世帯	２０９世帯	１２２．０
配付セット数	８１７人分	６７０人分	１２１．９

（２）フードパントリー事業（お米パントリー事業）

・米農家からの寄附を活用し、「食」にお困りの子育て世帯へ無償で米を配付するフードパントリー事業（お米パントリー事業）を実施した。また、生活困窮者の早期発見、早期支援を目的として、生活困りごと相談会を併せて実施した。

内容	令和７年度	前年度	前年比（%）
配付世帯	１７７世帯	－	－
相談会受付人数	１９人	－	－

（３）クリスマスケーキ配付事業

・就学援助世帯やひとり親世帯等の対象となる子育て世帯（１８歳以下のこどもがいる世帯）へ、市内等のケーキ店が作った４号サイズのクリスマスケーキを配付した。

内容	令和７年度	前年度	前年比（%）
協力店舗数	９店舗	１０店舗	９０．０
配付世帯	３７２世帯	３２７世帯	１１３．８

（４）クリスマスプレゼント事業（新規事業）

・就学援助世帯やひとり親世帯等の対象となる子育て世帯（１８歳以下のこどもがいる世帯）へ、クリスマスプレゼントとしてこども商品券又は図書カードを配付した。

内容	令和７年度	前年度	前年比（%）
配布世帯数	３６７世帯	－	－
配付人数	６３３人	－	－

（５）学用品贈呈事業

・「ほんじょうこども未来応援金」を活用し、未来を担うこどもたちの健やかな成長を地域全体で支援するため、市内の全小・中学校等の児童・生徒へ学用品（小学生は鉛筆(3本)、中学生はシャーペン）を贈呈した。

内容	令和７年度	前年度	前年比（%）
配布学校数	２０校	２０校	１００．０
配付人数	５，８００人	５，４００人	１０７．４

■ボランティア活動事業

１．ボランティアセンター運営事業・災害支援ボランティア関連事業

・ボランティアの募集・登録を行うとともに、他市町社協等が開催する研修や訓練等に参加した。

内容	令和７年度	前年度	前年比（%）
登録ボランティア数 （うち災害ボランティア数）	７６人 （３０人）	７３人 （２７人）	１０４．１ （１１１．１）
登録団体数 （うち災害ボランティア団体数）	７４団体 （１７団体）	７６団体 （１５団体）	９７．４ （１１３．３）
災害研修等参加回数	４回	３回	１３３．３

２．ボランティア啓発促進事業

・ボランティア情報紙の発行を通じて、子どもから大人まで、ボランティア意識の醸成に努めた（隔月年６回発行）。

３．ボランティア養成講座等

・手話奉仕員養成講座基礎課程（１７人）、福祉教育ボランティアスキルアップ講座（９人）、災害ボランティア養成講座（１８人）、ふくし講演会（５２人）を開催した。

内容	令和７年度	前年度	前年比（%）
講座数	４講座	４講座	１００．０
参加者数	９６人	６６人	１４５．５

4．夏のボランティア体験プログラム

・学生の夏休み期間、中学生から社会人までを対象に、保育施設、障害者施設等でボランティア体験をするプログラム事業等を開催し、福祉体験活動に取り組んだ。

内容	令和７年度	前年度	前年比（%）
施設ボランティア	８５人	１２２人	６９．７
ボランティア協力企画	１４９人	１１５人	１２９．６
地域の支え合い活動等	３７人	３３人	１１２．１
合　計	２７１人	２７０人	１００．４

5．福祉教育推進事業（「総合的な学習の時間」の支援活動等）

・小・中学校における福祉教育の推進と、学校・地域の協働による体験機会の創出を目的として、「総合的な学習の時間」への支援及び活動を支える福祉教育ボランティア等の育成に努めた。

内容	令和７年度	前年度	前年比（%）
小・中学校（１３校）	２７回	１９回	１４２．１
学校以外	２回	５回	４０．０
延べ参加ボランティア数	１０２人	１０２人	１００．０

■相談事業

1．心配ごと相談事業（受託事業）

・市民の心配ごとについて相談に応じ、適切な機関へつなぐこと等により、住民福祉の向上に努めた。

内容	令和７年度	前年度	前年比（%）
利用者数	１２人	１４人	８５．７
相談件数	１３件	１５件	８６．７

2．結婚相談事業（ＳＡＩＴＡＭＡ出会いサポートセンター）

・結婚を誠実に希望する独身男女に出会いの機会を提供する場として（ＳＡＩＴＡＭＡ出会いサポートセンター本庄）を開設し、入会受付や相談に応じた。また、婚活パーティー等のイベントを開催し、結婚に対する機運の醸成を図った。

内容	令和７年度	前年度	前年比（%）
登録者数（県） （うち本庄市）	２５，７４４人 （３８５人）	２２，５３６人 （３６５人）	１１４．２ （１０５．５）
市内在住成婚者数	４人	２人	２００.０
来所者数（男性）	９０人	８０人	１１２．５
来所者数（女性）	３９人	３３人	１１８．２
婚活パーティー実施数	８回	９回	８８．９
婚活パーティー参加者数	１４４人	１８３人	７８．７
カップリング数	４５組	４９組	９１．８
婚活イベント実施数	３回	４回	７５．０
婚活イベント参加者数	７１人	９１人	７８．０

■生活福祉事業・権利擁護事業

1．生活福祉資金等貸付事業

・福祉資金や生活福祉資金の貸付を行った。

内容	令和７年度	前年度	前年比（%）
福祉資金件数	２２件	３３件	６６．７
貸付額	６１５，０００円	９５５，０００円	６４．４
生活福祉資金件数	１９件	１９件	１００．０
貸付額	７，９４２，０００円	３，１５３，０００円	２５１．９
＜生活福祉資金内訳＞	【福祉費】	８件／５，５６７，０００円	
	【教育支援資金】	２件／１，３００，０００円	
	【緊急小口資金】	８件／ ６８５，０００円	
	【総合支援資金】	１件／ ３９０，０００円	

2．生活困窮者支援事業

（1）生活困窮者自立相談支援窓口（受託事業）

・生活に不安を抱える方や経済的に困窮している方(生活保護受給者を除く)からの相談に対応し、関係機関と連携しながら必要な支援を行った。

内容	令和７年度	前年度	前年比（%）
自立相談支援事業（新規件数）	４４８件	４８５件	９２．４

（2）彩の国あんしんセーフティネット事業

・市内の協力５法人と連携し、困窮世帯等への支援を実施した。また、担当相談員連絡会の開催を通じて関係機関の連携強化を図った。連絡会には、市内５法人から６名のほか、拠点施設、県社協、自立相談支援窓口職員が参加した。

内容	令和７年度	前年度	前年比（%）
セーフティネット事業（新規件数）	２８件	３５件	８０．０

（3）フードバンク事業

・生活困窮世帯等に寄附で集まった食品を提供した。

内容	令和７年度	前年度	前年比（%）
フードバンク事業（延べ件数）	６６０件	６９６件	９４．８

（4）歳末たすけあい事業

・対象者へ援護金を支給するとともに、中央共同募金会の助成事業を活用し、お米券を配付した。

内容	令和７年度	前年度	前年比（%）
歳末たすけあい事業（世帯数）	１２２世帯	１２７世帯	９６．１

（5）衛生用品の配布

・様々な事情で衛生用品を買えずにお困りの方を支援するため、衛生用品を配布した。

内容	令和７年度	前年度	前年比（%）
配布個数	５，７１２個	１０，３１１個	５５．４

３．権利擁護事業

（１）福祉サービス利用援助事業（受託事業）・法人成年後見事業

・福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートねっと）及び法人成年後見事業を行い、判断能力に課題を抱えた方への支援、被後見人等の財産管理及び身上保護を行った。

内容	令和７年度	前年度	前年比（%）
あんしんサポートねっと利用者数	１８人	１９人	９４．７
あんしんサポートねっと生活支援員数	１３人	１３人	１００．０
延べ訪問回数	２４４件	２７０件	９０．４
法人後見受任件数	５件	３件	１６６．７

（２）成年後見サポートセンター事業（受託事業）

・成年後見相談、講演会、成年後見制度研修会等を行った。

内容	令和７年度	前年度	前年比（%）
成年後見相談件数（一般）	３９件	３９件	１００．０
成年後見相談件数（専門）	１４件	１６件	８７．５
講演会参加者数（配信含む）	１４３人	１０４人	１３７．５
市民後見人養成研修受講者数（基礎研修）	１５人	１８人	－

※令和６年度市民後見人養成研修はフォローアップ研修のため、前年比は未記載。

■地域包括支援センター事業（受託事業）

１．包括的支援業務

（１）総合相談

・高齢者に関する様々な相談に応じ、必要な制度やサービスの紹介や調整などを行った。また「西包括だより」を発行し、相談窓口の周知や情報提供を行った。

内容	令和７年度	前年度	前年比（%）
延べ相談件数	７７９件	７２４件	１０７．６
延べ訪問回数	２５３件	２２９件	１１０．５
包括だより発行	１２回	１２回	１００．０

（２）権利擁護

・成年後見制度や日常生活自立支援事業等の紹介や情報提供等のほか、高齢者虐待や消費者被害の相談に応じ、必要な対応を行った。

内容	令和７年度	前年度	前年比（%）
延べ権利擁護対応件数	１９件	１９件	１００．０
うち高齢者虐待対応件数	１０件	１０件	１００．０
相談者数	６人	１０人	６０．０

（３）包括的・継続的ケアマネジメント

・高齢者への包括的、継続的なケアを実施するため、関係機関の連携を構築し、地域の介護支援専門員への支援を行った。

内容	令和７年度	前年度	前年比（%）
包括的・継続的ケアマネジメント会議	５回	７回	７１．４
介護支援専門員への相談支援	２６件	２５件	１０４．０
本庄地域ケアマネ会議	６回	６回	１００．０
本庄西ケアサポート連絡会	２回	３回	６６．６

（４）認知症総合支援事業

・認知症高齢者や家族等の支援を行うため、地域における認知症の理解を促進し、認知症の方や家族、地域住民、専門職等の関係者同士の連携を図った。オレンジカフェ（認知症カフェ）・認知症個別相談会は、２会場で開催した。

・市が行う認知症普及啓発イベント（オレンジウイーク in ほんじょう）に協力した。

内容	令和７年度	前年度	前年比（%）
オレンジカフェ参加者数	３２０人	３４４人	９３．０
認知症個別相談会開催	１８回	１８回	１００．０
認知症家族の会開催	１３回	１１回	１１８．２
認知症サポーター養成講座開催	４回	５回	８０．０
認知症ケア向上事業検討会議参加	１２回	１３回	９２．３

２．多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築

・地域包括支援ネットワークの構築のため地域ケア個別会議を開催し、介護・医療・保健福祉サービスやインフォーマルサービスなど様々な社会資源との連携を図った。

内容	令和７年度	前年度	前年比（%）
地域ケア個別会議開催	９回	７回	１２８．６
取扱事例数	１７事例	１３事例	１３０．８

３．介護予防支援・介護予防ケアマネジメント、その他

・指定介護予防支援事業者として、要支援１・２、及び事業対象者の方に対し、介護予防支援と介護予防ケアマネジメントを行った。また、在宅介護を行っている方等を対象として、介護に関する研修（介護者教室）を３回開催した。

内容	令和７年度	前年度	前年比（%）
延べ介護予防支援件数	７１８件	６１０件	１１７．７
延べ介護予防ケアマネジメント件数	６０５件	５４４件	１１１．２
延べ介護者教室参加者数	４１人	１９人	２１５．８

■生活支援体制整備事業（受託事業）

１．第１層生活支援体制整備事業

・第１層生活支援コーディネーター業務を受託し、協議体の運営（全体会１回、分科会会議各２回開催）や第２層協議体の支援等を行い、生活支援体制整備に取り組んだ。

「移動支援検討チーム（分科会）」では、タクシーを活用した乗り合いによる送迎支援や、社会福祉法人及びボランティア団体による移動支援等を行った。「集いの場検討チ

ーム（分科会）」では、老若男女問わず誰でも気軽に参加できる地域交流の場として、定期的にラジオ体操を行う場づくりの支援を行った。

・各地域包括支援センターが開催する「地域ケア個別会議」等に参加。地域資源に関する情報の提供等を行った。

・生活支援サポーター養成講座及び生活支援サポータースキルアップ講座を各１回開催した。また、埼玉県プラチナ・サポート・ショップの新規開拓及び利用促進に努めた。

内容	令和７年度	前年度	前年比（%）
養成講座参加者数	２２人	１８人	１２２．２
スキルアップ講座参加者数	１５人	２５人	６０．０
ラジオ体操実施箇所数	１７箇所	１３箇所	１３０．８
プラチナ・サポート・ショップ数（※）	１９３店舗	１６３店舗	１１８．４

※プラチナ・サポート・ショップ数は、本庄市を活動エリアとする店舗数。

２．第２層生活支援体制整備事業

・生活支援・介護予防サービスの開発や発掘のための取組として、第２層（本庄西地域）生活支援体制整備協議体の活動を行った。

・住民主体サービスの運営支援及び立ち上げ支援等を行った。

・ラジオ体操普及促進事業の周知活動を行い、実施団体の立ち上げ支援を行った。

・西圏域を中心にふれあいいきいきサロンを訪問し、はにぽん号、フレイル予防等についての情報提供を行った。

内容	令和７年度	前年度	前年比（%）
本庄西地域協議体会議	３回	４回	７５．０
プラチナ・サポート・ショップ新規登録数(※)	０店舗	２店舗	－
ラジオ体操普及促進事業設置箇所（西圏域）	４箇所	３箇所	１３３．３
ふれあいいきいきサロン訪問	９件	－	－

※プラチナ・サポート・ショップ新規登録数は、第２層で支援を行い登録となった店舗数。

■日本赤十字社事業

１．日本赤十字社活動資金協力依頼

・自治会連合会、民生委員・児童委員協議会、並びに各法人等へ日本赤十字社活動資金の協力を依頼し、次の実績を得ることができました。

内容	令和７年度	前年度	前年比（%）
一般会員	４，０８４，９００円	４，１０４，４００円	９９．５
特別会員	５１３，３００円	４９９，５００円	１０２．８

※活動資金とは、日赤会員として納めていただく会費と寄付金を総称。

２．災害被災世帯支援活動

・火災に遭われた世帯へ、物資（布団・毛布・日用品）及び見舞金等を提供した。

内容	令和７年度	前年度	前年比（%）
救援物資提供世帯数	０世帯	１世帯	－
見舞金等提供世帯数	０世帯	１世帯	－
見舞金等金額	０円	１０，０００円	－

３．赤十字地域支援活動

・自治会（上町・末広町・鍛治町・田端）への災害救護用天幕（小）の配備や、赤十字奉仕団活動の支援を行った。

４．その他赤十字支援活動

・国内災害義援金・海外救援金の募集を行い、日本赤十字社埼玉県支部を通じて被災地の配分委員会や被災国の赤十字社等へ全額送金した。

義援金名（国内）	令和７年度	累計額（令和７年度末現在）
令和６年能登半島地震災害義援金	７５，５３６円	９，０７１，４０２円
令和６年９月能登半島大雨災害義援金ほか９件	７８，４８１円	２，６９８，５９７円

救援金名（海外）	令和７年度	累計額（令和７年度末現在）
ウクライナ人道危機救援金	２０，７１０円	５１２，１３５円
イラン及び周辺国人道危機救援金ほか５件	１２，３５４円	１４，７０９円